（別紙２－４）

平成30年度　小規模多機能型居宅介護　やすらが丘　「サービス評価」　　総括表

法人名	医療法人社団松涛会	代表者	斎藤正樹
事業所名	小規模多機能居宅介護 やすらが丘	管理者	堀内　健

法人・事業所の特徴	一人ひとりのケアを大切に利用者の意思を尊重した介護支援を目標に実施して参ります。「あなたの歓びがわたしの生きがいです」をスローガンとしています。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	0	1人	1人	3人	3人	0	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の確認	できる限り何事にも丁寧な対応を心がけている。今後も良い評価が継続するよう質の向上に心がけたい。	毎月の会議・職員研修等を踏まえ介護に対する心構えも向上している。	評価の中で「わからない」との意見があり貴重な意見として今回の改善目標は自己研鑽と研修で職員の更なる質の向上を計画の柱とした。	更に良い評価が継続するよう職員の質の向上を目指し各職員に自己研鑽の目標を持ち実施したい。毎月の職員研修を更に充実させたい。
B．事業所のしつらえ・環境	①施錠については、安全上の対策で今後も継続。②「臭気」については不快な臭気対策生活上の問題もあり換気等に気お付け環境整備に取り組むこととする。	①については有料老人ホームとの出入り口が共通で不審者、認知症者対策として出る時のみＩＣカードによる開戸方式を採用している。②は対策を講じて快適な環境を維持している。	①②について特に異論も出ず質問もなく前回①について説明したところ理解を得られた。	有料老人ホームとの同一建物でもあり、不審者の侵入を防止今までどうり継続してまいります。
C．事業所と地域のかかわり	近隣に施設が数箇所あり固有名称での周知には至ってはない。見学者は多く案内に迷った方はいないので場所は周知されている。今後も見学相談で来設しやすいよう更に努力したい。	相談・見学者は月5～6名は平均して来所されている。相談者対応は小規模多機能の事に限らず介護保険等の関連したこと疑問に対して相談に対応している。	「やすらが丘」は地域の方に知られていますかの質問項目で「わからない」との回答が多くあった。相談に訪れる方は多数あるが、紹介により来所されている。	地域との関わり、知名度アップに地域行事への参加を業務の一環として出来る限り取り組んでいきたい。
D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	行事の参加は事業所として参加しているが勤務の関係で多くの人数ではない事に心苦しさを感じる。今後も地域の行事には積極的に参加するよう努力したい。相談については電話、近隣の病院、施設等多く頂いているので今後も介護に関しての相談窓口として機能させたい。	基準ぎりぎりの配置で人員の余裕が無く十分に取り組んだといえる結果でなかった。今後も職員環境は潤沢ではないことが想定されるが地域の行事参加等に対しては不足している事は努力していきたい。	行事として取り組んでいる事はおおむね理解して頂いている。意見として「分からない」との意見もあった。	行事への参加、近隣との交流をできる限り積極的に実施していきたい。
E．運営推進会議を活かした取組み	小規模多機能型サービス自体が地域密着型で参加者も地域の方々です。運営推進会議が更に地域に理解されるよう努力をはかりたい。	会議の内容の改善で前年より向上したと実感している。	「地域の方の事例検討」の項目欄でわからないを選んだ方が多くいた。	「地域の方の事例検討」の項目欄回答でわからないを選んだ方が多くいた事で事例報告ではなく、参加者と事例検討する方法で実施していきたい。
F．事業所の防災・災害対策	年2回は消防署に計画を出し正規の認証の元実施ししている事を説明。今後も火災・防犯・災害に対して定期的に避難訓練の継続して行く。	法定の年2回は実施継続している。	地域の防災訓練への参加、事業所の訓練への参加にわからないと回答が多くあった。	家族、近隣の方に周知が不足していた、法定訓練時は関係者近隣等に周知し実行したい。